



にこにこ



暑い夏も終わり、少しずつ涼しくなって外での活動も過ごしやすい季節がやってきました。何をするにも心地よい秋♪天気の良い日には長久保公園へ出て、子どもたちが意欲的に、活発に体を動かせるよう自然を感じたりいろいろな感触を感じて秋を楽しみたいと思います♪



言葉について

0歳児・1歳児は言葉の獲得に大切な年齢です。そして沢山対話をしていく事がとても重要です。毎日一緒にいる大人の関わりはとても大切になってきます。まだ話せない子であっても、相手が今どんな気持ちなのか、どんな事を考えているのか考え、思いを汲み取りながら対話するよう心掛けています。嬉しい事、楽しい事、悲しい事があればその気持ちを代弁し共感します。話す時には目を見てゆっくりと、はっきり話します。子どもは大人の話や耳で聞いているのと同時に、口の動かし方もじーっと見て、口がどう動いているのかなとよく観察し真似をして、口を動かしたり、一生懸命その言葉を言おうと頑張ります。物の名称に対しても、例えば、「わんわん」や「にゃーにゃー」と言う子に対して「犬だね」「猫だね」と正しい言葉を知らせています。一つ一つ丁寧に応えていく事は子どもたちが沢山お話しをするようになるまでの大切な過程です。簡単な言葉の繰り返しや模倣を通じ、子どもの表情や身振等、やり取りの中で発語を促しています。「楽しい」や「嬉しい」と言ったり、伝える時は笑顔で伝えます。笑顔で伝える事で「楽しい」「嬉しい」という言葉は笑顔に繋がる等、場面に合った言葉を覚える事で言葉の理解が深まります。

♪ぱんだ組で取り入れているベビーサインをいくつかご紹介します♪

大人に自分の気持ちを表す機会が増えてきたぱんだ組のお友だち。身振り手振りのジェスチャーを使ってコミュニケーションをとるベビーサインを取り入れながら、意思の疎通を図っています。

☆食事の場面では

<p>「食べる」 片手の指先を口元に持っていていき、指先を動かして何か食べるような仕草で、ご飯の時間を知らせます。</p>	<p>「いただきます」 両手を合わせます。</p>	<p>「おいしいね♪」 片手で頬を2、3回ポンポン</p>
---	-------------------------------	-----------------------------------

☆生活の場面では

<p>「もっともっと」 両手の指先を軽く閉じてトントンと触れ合わせます。遊びをもっとやりたい！といった時に使います。</p>	<p>「おしまい」 両手を合わせます。ご飯の後の「ごちそうさま」の他、「絵本おしまい」など、生活の区切りの中で使っていくことで使える場面が広がります。</p>
--	---

これからも、ベビーサインを使って、やりとりを続けていきたいと思っています。ぜひお家でもやってみてください♪
どんな場面でどんなふうに使っているのかな？などありましたら、お気軽に担任へお声掛けください♪